

## 安全データシート

### 1.製品及び会社情報

製品名	ポリッシュマンX6
会社名	株式会社 本荘興産
住所	岡山県倉敷市児島塩生2764-3
電話番号	086-475-0950
ファックス番号	086-475-0952
作成・改訂	令和5年10月10日(作成)

推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	自動車塗装の研磨及び活性化
使用上の制限	一般工業用

### 2.危険有害性の要約

化学品のGHS分類	
物理化学的危険性	危険有害性の分類に該当するという情報はありません。
健康に対する有害性	
皮膚腐食性・刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷 ／眼刺激性	区分2
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	区分2
生殖毒性	区分1B
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分1(中枢神経系、腎臓、神経系、呼吸器、肝臓) 区分2(血液) 区分3(麻酔作用) 区分1(中枢神経系、神経系、呼吸器、肺)
環境に対する有害性	
水生環境急性有害性	区分3
水生環境慢性有害性	区分3

\*記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」または「分類できない」である。

#### GHSラベル要素

絵文字又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚刺激(H315、皮膚腐食性・刺激性区分2)  
重篤な眼への刺激(H319、眼に対する重篤な損傷／眼刺激性区分2)  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(H317、皮膚感作性区分1)  
遺伝性疾患のおそれの疑い(H341、生殖細胞変異原性区分2)  
発がんのおそれの疑い(H351、発がん性区分2)  
生殖能または胎児への悪影響のおそれ(H360、生殖毒性区分1B)  
中枢神経系、腎臓、神経系、呼吸器、肝臓の障害(H370、特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)区分1)  
血液の障害のおそれ(H371、特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)区分2)  
眠気又はめまいのおそれ(H336、特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)区分3)  
長期又は反復ばく露による中枢神経系、神経系、呼吸器、肺の障害(H372、特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)区分1)

授乳中の子に害を及ぼすおそれ。  
水生生物に有害(H402、水生環境急性有害性区分3)  
長期的影響により水生生物に有害(H412、水生環境慢性有害性区分3)

注意書き  
一般

医学的な助言が必要などときには、製品容器やラベルを持っていくこと。  
子供の手の届かないところに置くこと。  
使用前にラベルをよく読むこと。

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後は手をよく洗うこと。  
妊娠中／授乳期中は接触を避けること。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
環境への放出を避けること。  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。  
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して  
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。  
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。  
皮膚刺激又は発疹(疹)が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。  
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
施錠して保管すること。

廃棄

内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3.組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量(%)
		化審法	安衛法	
石油系溶剤	非公開	非公開	非公開	20~25
酸化アルミニウム	非公開	非公開	非公開	1~5
カオリン	非公開	非公開	非公開	1~5
グリセリン	56-81-5	非公開	非公開	1~5
ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル	非公開	非公開	非公開	0.5~1
スルホン酸ナトリウム塩化合物	577-11-7	(2)-1620	(2)-(4)-692	0.5~1
ソルビタン脂肪酸エステル	1338-39-2	(8)-63	(8)-63	0.5~1
プロピレングリコール	57-55-6	(2)-234	(2)-234、 2-(8)-321、 2-(8)-323	0.1以下
界面活性剤	非公開	非公開	非公開	1~5
研磨潤滑剤	非公開	非公開	非公開	1~5
安定剤	非公開	非公開	非公開	0.5以下
防腐剤	非公開	非公開	非公開	微量
水	7732-18-5			残部

化審法;全成分登録済保証。

#### 4.応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動する。呼吸しやすい姿勢で休息させること。 医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服を脱ぐこと。 皮膚を石鹸と水で洗うこと。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受けること。
目に入った場合	汚染された衣服を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。 直ちに多量の水で15分以上洗浄すること。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。 目の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合 予想される急性症状 及び遅発性症状	口をすすぐこと。直ちに医師の手当てを受けること。 吸入した場合:咳、めまい、頭痛、吐き気、息切れ。 皮膚に付着した場合:皮膚の乾燥、発赤、かゆみ。 目に入った場合:発赤、痛みかゆみ眼。 飲み込んだ場合:腹痛、吐き気、嘔吐。 遅発性症状:化学性肺炎
最も重要な兆候及び症状 応急措置をする者の保護	情報なし ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。 救助者は、状況に応じて適切な保護具(有機溶剤用の防毒マスク)を着用する。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて処置すること。

#### 5.火災時の措置

適切な消火剤	小火災:二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤 大火災:散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性	知見なし。 加熱および火災により有害な蒸気/ガスが生成されることがある。 硫酸化物。(腐食性あり。) 火災に巻き込まれると、水分が蒸発し引火性可燃物となり、蒸気は空気と爆発性混合気体を形成する恐れがある。 加熱により容器が爆発するおそれがある。
特有の消火方法	火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。 初期消火剤で消化の効果がでない大きな火災の場合には散水すること。 もし危険を冒さずにできる場合は、火災区域から容器を移動させる。 区域より退散させ、爆発の危険性により遠くから消火する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火後も、大彙の水を用いて十分に容器を冷却する。 消防士は、防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、自給式呼吸器(SCBA)を着用する。

#### 6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。流出物質に触ったり、踏んだりしない。 十分な換気を確保する。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。 作業者は適切な保護具(8.ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸引を避けること。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
---------------------------	---

環境に対する注意事項	漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用すること。 風上に留まること。 低地から離れること。
回収	安全を確認してから、流出防止の措置をとる。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意すること。 環境中に放出してはならない。 少量の場合はウエス等で拭きとり、その後湘洩区域を大量の水で洗い流す。 多量の場合は土砂等で流れを止め出来る限り回収し、残分はウエス等で拭きとり、その後大量の水で洗い流す。 元の容器に回収して再使用することは絶対に避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	全ての着火源を取り除く。(近傍での喫煙、火花や火災の禁止) 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7.取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策(局所排気、 全体換気等)	適切な換気を行う。 取扱い場所近くに、緊急時に、洗眼および身体洗浄を行うための設備を設置すること。漏れ、溢れ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させないこと。 発散した蒸気を吸い込まないようにすること。 屋外での作業は、できるだけ風上からすること。 取扱いの都度容器は密栓すること。 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用すること。 取扱い後は、手、顔等を良く洗いうがいをすること。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用をさけること。 取扱い／保管は慎重に行うこと。使用前に取扱説明書を入手すること。 炎、火花、若しくは高温体との接触又は過熱を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させないこと。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。妊娠中または授乳中の女性はこの製品を取り扱ってはならない。適切な保護具を着用する。 取扱い後は手をよく洗うこと。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。長時間の暴露を避けること。
火災・爆発の防止 安全取扱い注意事項	容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。 取り扱う場合は、局所排気内、又は全体換気の設備のある場所で取り扱うこと。
その他の注意事項	『10. 安定性及び反応性』を参照。 使用中は飲食や喫煙をしない。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。 適切な産業衛生および安全対策のもとに取り扱う。
接触回避 適切な衛生対策	施錠して保管すること。容器を密閉して正立で保管すること。 火気、熱源より遠ざけること。火気厳禁 子供の手の届かないように保管すること。 直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。 温度が40℃以上又は0℃以下で保管しないで下さい。 水のかかる所、湿気の多い所は避けて保管すること。 車載保管しないこと。
保管 安全な保管条件	元の容器で保管する。本品は水を含有しております。従いまして、金属製の容器に長期保管した場合は、容器が腐食する可能性がございますのでご注意ください。
安全な容器包装材料	酸化剤
混触禁止物質	

## 8.暴露防止及び保護措置

許容濃度(暴露限界値)	含有成分に関して暴露限界は設定されていない。
-------------	------------------------

および管理濃度  
設備対策

適切な全体換気・局所排気装置を設置する。  
取り扱い場所近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示すること。

保護具

呼吸器の保護具  
手の保護具  
眼、顔面の保護具  
皮膚及び身体の保護具

有機溶剤用防毒マスク  
保護手袋(ゴム手袋)を着用すること。  
側板付安全眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。  
作業着、ゴム長靴、ゴム前掛け等を使用

衛生対策

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
取扱い後は石鹸でよく手を洗うこと。

## 9.物理的及び化学的性質

外観

物理状態

灰色O/Wで、粘性の高い乳化液体。

色臭い

穏かな特異臭を有する。

融点/凝固点

0 °C(32 °F)[水]

沸点又は初留点及び沸騰範囲

データなし

凝固点

データなし

揮発性

データなし

可燃性

該当せず

爆発下限(LEL)

データなし

／可燃限界(下限)

爆発上限(UEL)

データなし

／可燃限界(上限)

引火点

明瞭な引火点なし(タグ密閉)

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

8.0~9.0

動粘性率又は粘度

5,000~20,000 mPa·s(製造直後)

溶解性(水)

自由に分散混和する。

n-オクタノール

該当せず

／水分配係数(log値)

蒸気圧

データなし

蒸気密度又は相対ガス密度

該当せず

蒸発速度

データなし

比重(25/4)

約1.023

分子量

該当せず

粒子特性

データなし

## 10.安定性及び反応性

反応性

強力な酸化剤、高温で爆発や燃焼する。

化学的安定性

通常の条件では安定。

危険有害反応可能性

危険な重合は起こらない。

避けるべき条件

高温、火花、裸火

混触危険物質

酸化剤。

危険有害性分解生成物

加熱又は燃焼により下記の分解生成物を発生する可能性がある。

一酸化炭素、二酸化炭素等の酸化炭素類、亜硫酸ガス、不完全燃焼により生成する微量の炭素化合物。二酸化珪素。硫黄酸化物。ホルムアルデヒド。

## 11.有害性情報

急性毒性

知見なし

皮膚腐食性／刺激性	皮膚刺激。[スルホン酸ナトリウム塩化合物][ソルビタン脂肪酸エステル]
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	強い眼刺激。[スルホン酸ナトリウム塩化合物]
呼吸器感受性又は皮膚感受性	
呼吸器感受性	データなし
皮膚感受性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。授乳中の子に害を及ぼすおそれ。[スルホン酸ナトリウム塩化合物]
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

## 12.環境影響情報

環境影響データ	成分	種	試験結果
	スルホン酸ナトリウム塩化合物(CAS 577-11-7)		
	水生 魚類	LC50	ニジマス( <i>Oncorhynchus mykiss</i> ) 20 - 40 mg/l, 96時間
	プロピレングリコール(CAS 57-55-6)		
	水生 魚類	LC50	ファットヘッドミノー( <i>Pimephales promelas</i> ) 710mg/l, 96時間
	甲殻類	EC50	オオミジンコ >10000 mg/l, 48時間
生態毒性	水生生物に有害。[スルホン酸ナトリウム塩化合物][ソルビタン脂肪酸エステル] 長期継続的影響によって水生生物に有害。[スルホン酸ナトリウム塩化合物]		
残留性・分解性	データなし		
生体蓄積性	データなし		
土壤中の移動性	データなし		
オゾン層への有害性	データなし		

## 13.廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	焼却処理。その際、シリカの微粉が生成致しますので適切な設備での焼却をお願い致します。また、必要に応じて防塵マスク等の保護具の着用をお願い致します。 廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。内容物／容器を地域／地方／国／国際規則に従って処理すること。
---	--

## 14.輸送上の注意

注意事項	取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。 容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
国際規制	
IATA	危険物には該当しない。
IMDG	危険物には該当しない。
MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送	本製品は、ばら積み輸送用ではありません。
国内規制	
陸上輸送	国内輸送については15章の規制に従うこと。 消防法、労安法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。

## 15.適用法令

労働安全衛生法	
特化則	
第一類物質	該当せず
第二類物質	該当せず
第三類物質	該当せず
有機則	
第一種有機溶剤	該当せず
第二種有機溶剤	該当せず
第三種有機溶剤	該当せず
通知対象物	エチルベンゼン、酸化アルミニウム、ノナン
表示対象物	エチルベンゼン、キシレン、酸化アルミニウム、灯油、ノナン
毒物及び劇物取締法	
特定毒物	該当せず
毒物	該当せず
劇物	該当せず
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律	
第一種特定化学物質	該当せず
第二種特定化学物質	該当せず
監視化学物質	該当せず
優先評価化学物質	ナトリウム = 1, 4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1, 4-ジオキソプタン-2-スルホナート (アンヒドロ(又はジアンヒドロ)グルシトールとドデカン酸のモノエステル)と α-ヒドロ-の-ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のモノ(又はポリ)エーテル プロパン-1, 2-ジオール
化学物質排出把握管理促進法	
特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)	該当せず
第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)	該当せず
第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)	該当せず
消防法	非危険物
船舶安全法・危規則	該当せず
航空法・施行規則	該当せず
火薬類取締法	該当せず
高压ガス保安法	該当せず
海洋汚染防止法	該当せず

## 16.その他の情報

引用文献	HSDB® - Hazardous Substances Data Bank IARC発がん性評価モノグラフ National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices 日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告 JIS Z 7252 : 2019 GHSに基づく化学品の分類方法 JIS Z 7253 : 2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法- ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) 日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2019年6月 各原料メーカーのMSDS、SDS
------	--

本記載内容は代表値であり、規格、および保証値を示すものではありません。また、推奨される産業衛生措置および安全な取扱い方法は、通常の手続きにおいて適用した方がよいと思われる内容を記載しておりますので具体的な用途や取扱い条件に照らして、推奨事項が適切かどうかご検討の上ご判断頂くようお願い致します。

本品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行ない、当該用途に使用する事の安全性をご確認の上ご使用ください。医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。